

# 日医ニュース

2024. 8. 20 No. 1509

発行所 **日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



**トピックス**

- 中医協総会 ..... 3面
- 日本銀行より新千円札の贈呈を受ける ..... 4面
- 令和4・5年度 会内委員会答申・報告書 ..... 6～7面

## 日本医師会役員就任披露パーティー

# 岸田総理始め 多くの参会者が 第2次松本執行部の門出を祝う



武見厚労大臣



林官房長官



岸田総理

日本医師会役員就任披露パーティーが7月23日、都内のホテルで開催され、第156回日本医師会定例代議員会で選任・選定された第2次松本執行部が披露された。

本パーティーはコロナ禍を経て6年ぶりの開催で、当日は、岸田文雄内閣総理大臣を始めとする現役閣僚や与野党の国会議員を始め800名を超える出席者が集まり、新執行部は祝福と激励を受けた。



自見内閣府特命担当大臣

新役員一同は午後5時、盛大な拍手に迎えられて登壇(写真上)。茂

松茂人副会長が、令和6年能登半島地震における日本医師会災害医療チームの功績を称え、新執行部の門出を祝福した。

岸田総理は、「日本の医療は、世界に冠たる国民皆保険制度の下、先生方の力添えによって健康長寿社会を実現してきたが、日本の社会はどんどん変化しており、国民の健康のために私達は努力を続けていかなければならない」と指摘。

政府として、かか

△(JMAと声明。

T)活動へ また、新紙幣の発行に意を表した。初代日本医師会長の北里柴三郎先生が新千円札紙幣の肖像画に選ばれたことに触れ、「医療に対する期待の表れではないか。北里先生の高邁な理想と精神を受け継ぎつつ、役職員一丸となって会務に臨んでいく」との姿勢を強調した。

引き続き、来賓者から祝辞が述べられた。

最初にあいさつした岸田総理は、「日本の医療は、世界に冠たる国民皆保険制度の下、先生方の力添えによって健康長寿社会を実現してきたが、日本の社会はどんどん変化しており、国民の健康のために私達は努力を続けていかなければならない」と指摘。

政府として、かか

(2面に続く)



松本総務大臣



上川外務大臣



新藤経済再生担当大臣



茂木自民党幹事長



門脇日本医学会長

（1面より）  
 け機能が発揮できる制  
 度の整備や、地域医療構  
 想のバージョンアップ、  
 医師の偏在是正、医療D  
 Xに取り組み一方、ベ  
 スアップ評価料の新設で  
 医療従事者の負担も手  
 当てしたとし、日本医師  
 会には国民の期待を受け  
 て一層活躍することを求  
 めた。  
 続いて、武見敬三厚生  
 労働大臣が登壇。医療行  
 政における重要なテーマ  
 として、（1）マイナ保  
 険証の普及、（2）医療  
 従事者の負担上げ、（3）  
 将来を見据  
 えた医療提  
 供体制の検  
 討——を挙  
 げ、医療従  
 事者の働き  
 方改革に加  
 え、医師の  
 偏在是正を  
 図るための  
 経済的なイ  
 ンセンティ  
 ブや規制的  
 手法などを  
 組み合わせ  
 た、総合的  
 な対策を進  
 めていくと  
 した。  
 また、高  
 齢者人口が  
 ピークを迎  
 える204  
 0年を見据  
 えた新たな  
 地域医療構  
 想の検討を  
 執行部を祝うために多く

本格化させていくとし  
 て、「このような重要な  
 テーマについて、引き続  
 き松本会長を始め、役員  
 の皆様と率直に議論を重  
 ねていきたい」として、  
 理解と協力を求めた。  
 茂木敏充自民党幹事長  
 は、「北里先生が新千円  
 札の肖像画に採用された  
 が、千円札は国民に最も  
 身近な紙幣であり、医師  
 会や医療関係者に対する  
 国民の親近感が更に高ま  
 ることを期待したい」と  
 した上で、令和6年度の  
 診療報酬改定に言及、「引  
 き続き国民の安心・安全  
 を守る医療体制の確保に  
 全力で取り組み、地域に  
 根差した医師会の活動を  
 後押ししていく」と述べ  
 た。

門脇孝日本医学会長  
 は、日本医師会からの日  
 頃の支援に感謝すると述  
 べるとともに、今後また  
 ます日本医師会と連携を  
 強めて活動していく考え  
 を示した。  
 その後、榎本充明日本  
 医師会代議員会議長／愛  
 知県医師会長の音頭によ  
 り乾杯が行われた。  
 会場には、第2次松本

午後6時50分、角田徹  
 副会長が、「本日はたく  
 さんの激励を頂いた。こ  
 れからも厳しい状況が続  
 くが、松本会長の下、執  
 行部一丸となって会務に  
 当たりたい」と参会者へ  
 謝辞を述べ、パーティー  
 は盛會裏に終了となった。

の一人が駆け付け、激励  
 の言葉が飛び交った。  
 歓談の間には横倉義  
 武名誉会長が登壇し、松  
 本会長の2期目の就任を  
 祝うとともに、「大変な  
 時代の日本医師会長とし  
 て、日本の医療を引っ張  
 り、国民の生命と健康を  
 守って頂いていることに  
 敬意を表する」とあいさ  
 つ。震災等に対応しつづ  
 さまさまな難題を解決し  
 ていかなくはならない  
 中で、日本医師会が素晴  
 らしい団体であると国民  
 に思われる活動が展開さ  
 れるよう期待を寄せた。  
 自見はなこ内閣府特命  
 担当大臣は、「地域医療  
 を守って下さっている先  
 生方がおられるからこ  
 そ、国民の安心・安全は  
 守られている。そういう  
 意味ではここに参集され  
 ている先生方が私達の社  
 会を底支えしている」と  
 述べ、謝意を示した。

この他、松本剛明総務  
 大臣、上川陽子外務大臣、  
 林芳正内閣官房長官、新  
 藤義孝経済再生担当大臣  
 を始めとした現役閣僚な  
 どが訪れ、新執行部誕生  
 を祝うあいさつが行われ  
 た。

の言葉が飛び交った。  
 歓談の間には横倉義  
 武名誉会長が登壇し、松  
 本会長の2期目の就任を  
 祝うとともに、「大変な  
 時代の日本医師会長とし  
 て、日本の医療を引っ張  
 り、国民の生命と健康を  
 守って頂いていることに  
 敬意を表する」とあいさ  
 つ。震災等に対応しつづ  
 さまさまな難題を解決し  
 ていかなくはならない  
 中で、日本医師会が素晴  
 らしい団体であると国民  
 に思われる活動が展開さ  
 れるよう期待を寄せた。  
 自見はなこ内閣府特命  
 担当大臣は、「地域医療  
 を守って下さっている先  
 生方がおられるからこ  
 そ、国民の安心・安全は  
 守られている。そういう  
 意味ではここに参集され  
 ている先生方が私達の社  
 会を底支えしている」と  
 述べ、謝意を示した。

## 役員紹介 < 副会長 > —就任に当たっての抱負と担当業務について—

- ① 趣味 ② 座右の銘 ③ 医師になったきっかけ ④ 会員の先生方へ一言



しげまつ しげと  
茂松 茂人

- ① 日々の診療（整形外科）、高齢者の診療。学生時代は中学時代から大学時代までバレーボールに明け暮れ、整形外科医になり冬から春にかけて年に2週間つがいけスキー場診療所に出向しながら、しっかりスキーに勤しむ。時間を見ては四輪駆動車にてスキー場に通う。カラオケを先輩、後輩、友人、家族と楽しむ。一人の時はラジコンカーを作製して走らせること
- ② 信念、理念、謙虚、素直、真実一路
- ③ 私が生まれた1950年代は高度経済成長期であり、モノづくりの時代でもありました。その影響も受けて当初は工学部を志望しておりました。その後、機械ではなく、人と接する仕事、更には人を救いたいという思いが強くなり、医師を目指しました。
- ④ 6月の日本医師会定例代議員会において2期目の副会長に選任・選定を頂き、深く感謝申し上げます。医療情勢はますます厳しく、経済的な思考のみで進められる医療政策には今後とも断固反対して参ります。先人達が築き上げた日本の医療制度をこれからも堅持するためにも、国民から信頼される強靱な日本医師会を目指して、松本会長の強いリーダーシップの下、執行部が一丸となって全力で取り組んで参ります。どうか会員諸氏の皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療政策、医療保険、労災・自賠責、介護保険・福祉（認知症を含む）、救急災害医療、薬事・医療機器、学校保健、産業保健、健康スポーツ、公衆衛生、禁煙対策・がん対策、健・検診、有床診療所、医療廃棄物、医事法制、死因究明、医賠責、年金、医療安全、治験



かくた とおる  
角田 徹

- ① 山登り（医業より得意かもしれない）、将棋（一応四段）、フルマラソン・ウルトラマラソン（最後の完走は6年前だが……）
- ② 明日は明日の風が吹く
- ③ 中学生までは学校の教師になりたかった。特に強制されたわけではないが、高校生の時に親父と同じ外科医になる気になった。きっかけは今でも不明。
- ④ 三鷹市・東京都医師会の役員を長年務めましたが、日本医師会役員の仕事は全く異次元の感が強いです。日本は広く、それぞれの地域の環境や状況、風習・文化まで差異があります。対応する行政（政府）との関係性が、これまでの経験と大きく異なることを実感しています。浅学非才の身ですが、体力と鈍感力を武器として邁進いたしますので、よろしくご指導の程をお願いいたします。

総務、財務、医療政策、広報、情報、会員情報、電子認証センター、医療保険、学術・生涯教育（医学会）、男女共同参画、地域医療、国民生活安全対策、共同利用施設、外国人医療、先端医療、環境保健、精神保健（障害を含む）、医師の働き方、医療機関勤務環境評価センター、国際、日医総研、女性医師支援センター



かまやち さとし  
釜范 敏

- ① 阿波踊り、茶道
- ② 一期一会
- ③ 長男として生まれ、父が小児科開業医、母方は代々小児科医の家であったため、自然の成り行きで医学の道に進みました。何らかの医療分野において、少しでも役に立ちたいと願っていました。
- ④ わが国の医療や介護は諸外国に比べてとても優れていますが、若年人口が急激に減少する中で、今後も国民の皆さんが利用しやすいように継続発展させるのは容易なことではありません。医療や介護に関する重要な事項は政治の場で決まりますので、現場の要望を実現するためには、より多くの国会議員の理解と賛同がぜひ必要です。医療現場と政治との橋渡しを担う者が日本医師連盟組織内候補であり、現在も羽生田俊先生と自見はなこ先生が大きな役割を果たされています。今後全力で取り組んで参りますので、ご指導ご支援を心からお願い申し上げます。

医療政策、医療保険、税制、医療機関経営、勤務医、病院、会員福祉、医師国保、在宅医療、図書館、医療関係職種、小児在宅ケア、生命倫理、精度管理、感染症危機管理対策・予防接種、周産期、乳幼児保健



# 松本会長、茂松副会長、長島常任理事

## 室伏スポーツ庁長官に 要望書を手交



松本吉郎会長は6月19日、茂松茂人副会長、長島公之常任理事と共にスポーツ庁を訪問し、室伏

ねがでできるよう、継続した補助事業の実施、自治体各部局への情報提供、生活習慣病に対する運動

健康スポーツ医学委員会

の答申内容について、説明を行った。

同常任理事は、本答申では、運動関連マップと令和2・3年度運動・健康スポーツ医学実践ガイド」を活用することで、地域の多職種連携を促進し、健康な人だけでなく、高齢者や何らかの病気を

川町で実施した、運動器機能低下に対する地域における効果的な運動療法のあり方に関する研究成果を概説。「日本医師会にもぜひ、このように活

取組みを応援して欲しい」と述べた。

広治スポーツ庁長官に「運動・健康スポーツ施策に関する要望書」を手交した。

要望書の中では、スポーツ庁に対し「①運動・スポーツ習慣化促進事業及び運動関連マップ事業の更なる拡充を図った上で、事業の積み重ねができるよう、継続した補助事業の実施、自治

体の各部局への情報提供、生活習慣病に対する運動療法を始め、引き続き、日本医師会に対して運動・スポーツに関する助言—を行うことを要請。また、①に関しては、スポーツ庁の補助事業を申請するに当たり、各自

治体を取り組む運動関連マップの作成が現在、選択的実施事項となっていることに触れ、取組必須事項に格上げをすること

も、申請のハードルを下げて採択数を増やすよう求めている。

その後の意見交換の中では、長島常任理事が今回の要望書を取りまとめた日本医師会内の運動・健康スポーツ医学委員会

新紙幣が発行となった7月3日、松本吉郎会長

は日本銀行本店新館で開かれた日本銀行券の贈呈

式に出席し、植田和男日

銀総裁から新千円札（記

番号AA000007A）を贈呈された。

日本銀行では今回、新紙幣の発行に当たり、広

く国民に公開するなど、新紙幣に関する広報に協

力してもらうことを目的として、新紙幣の肖像画



## 新紙幣発行に当たり 日本銀行より新千円札の贈呈を受ける

式に出席し、植田和男日銀総裁から新千円札（記番号AA000007A）を贈呈された。

日本銀行では今回、新紙幣の発行に当たり、広く国民に公開するなど、新紙幣に関する広報に協力してもらうことを目的として、新紙幣の肖像画に採用された3名にゆかりのある団体等に若い記番号の新券を贈呈しているが、初代会長が北里柴三郎先生であることから、北里先生が「予防医学を確立することが近代化で

ある」という非常に強い思いを持っていたことに言及。「予防や健康増進が重要な役割を果たすようになってきており、今後この北里先生の志を受け継ぎ、治療を中心とした医療のみならず、予防・健康づくりに力点を置いた人生100年時代という健康長寿社会の実現に尽力していく」と述べた。

また、松本会長は千円札が紙幣の中で最も流通量が多く、国民が一番親しまれている紙幣となっていることにも触れ、「日本医師会としても国民に親しまれ、信頼される医師会として、国民の皆さまの生命と健康を守っていく」との決意を示した。

## 角田副会長、今村常任理事 2024年アメリカ医師会（AMA） 年次総会に出席



スコットAMA新会長と

AMA会長（任期…2024年10月25年）の就任式が行われた。

同会長はケンタッキー州出身で、専門は耳鼻咽喉科、頭頸部外科である。

角田副会長、今村常任理事は6月10、11日の両日にわたって、アメリカのシカゴで開催されたアメリカ医師会（AMA）年次総会に出席した。

10日は海外賓客夕食会が行われ、AMAからはジェームズ・マダラCEO、ジェシー・エーレンフェルド会長、ジャック・レスネック前会長を始めとする歴代会長が、世界医師会（WMA）からはオサホン・エナブレ前会長（ナイジェリア）、ジョン・ユル・パク

理事会議長（韓国）、オトマー・クロイバー事務総長（ドイツ）が、その他、ドイツ、イスラエル、フランス、カナダ、オランダ、タイ、マレーシアの各医師会からそれぞれの代表が参加し、情報共有並びに意見交換を行った。

翌11日には、ブルー・スコット第179代

スコットAMA新会長と

同会長はケンタッキー州出身で、専門は耳鼻咽喉科、頭頸部外科である。

就任のあいさつを行

ったスコットAMA会長はメディケアへの年間支払の削減、増大する事務負担、患者と医師の関係への継続的な脅威は、医師の燃え尽き症候群という雪だるま式で増大する課題の要因の一部になっていると指摘。今後はこれらの課題に対して積極的に取り組んでいく考えを示した。

また、次期会長にはミシガン州の耳鼻咽喉科医であるポビー・ムッカマラ医師が就任した。

総会では、メディケアの支払改革、将来にわたって遠隔医療の継続を支持すること、個人情報に配慮した医師の燃え尽き症候群の研究の実施、医療従事者が健康に関するAIツールの選択・開発・実装において重要な役割を果たす必要があることなどについて議論された。

# 案内



## 日本医師会シンポジウム 受け継がれる北里柴三郎の志 〜新千円札発行を記念して〜

### 参加者募集

◆目的：新千円札の肖像画に採用された北里柴三郎先生の功績を振り返る中で、日本医師会の果たしている役割を知ってもらうとともに、コロナ禍を踏まえ、今後、いつ起きるか分からない新興感染症に備えて何が必要なのかを国民と共に考える

◆日時：9月15日(日) 午後12時30分〜2時30分(予定)

◆場所：日本医師会館1階大講堂

◆プログラム：  
・あいさつ  
松本吉郎日本医師会会長

北川雄光日本医学会副会長／慶應義塾常任理事  
・対談「北里柴三郎の功績と日本医師会の果たす役割」(北里英郎北里柴三郎記念館館長、釜海敏日本医師会副会長)

・講演1「感染症と人類の闘い」(本郷和人東京大学史料編纂所教授)

・講演2「Withコロナ時代を生きる〜生活の中の感染対策〜」(菅原えりさ東京医療保健大学教授／日本環境感染学会 評議員)

・Q&Aセッション(北里里柴三郎記念館館長、本郷東大教授、菅原東京医療保健大教授、釜海敏日本医師会副会長)



申込フォーム

◆申込方法：申込フォームから必要事項を明記の上、9月1日(日)午後11時59分までに申し込みます。

抽選で450名様を無料でご招待します。

※なお、演者の方々の質問を併せて募集しています。申込時にご記入願います(質問のみも受け付けています)。

◆問い合わせ先：日本医師会北里シンポジウム事務局  
03-6555-17204(午前10時〜午後5時、土・日・祝日を除く)  
event-jimkyoku.jp

## 会員提携ホテルに ウェスティンホテル仙台 が加わりました



日本医師会ホームページのメンバーズルームに掲載中の『ONLINEホテル予約サービス』会員提携ホテルに、森トラスト・ホテルズ&リゾーツの「ウェスティンホテル仙台」が新たに加わりました。日本医師会ホームページ▶「メンバーズルーム」にログイン▶「ホテル予約サービス」のページをご覧ください。

なお、宿泊申込は、電話・メールいずれかの方法になります。

## ハーバード大学 T.H. Chan 公衆衛生大学院 武見国際保健プログラムの フェロー募集



- (2) 日本国籍を有し、日本在住である者
- (3) 修士課程を修了している者
- (4) TOEFL iBTで100以上もしくはIELTSで7以上の英語能力を有する者
- (5) 次に該当する者
  - ① 国際保健、公衆衛生、医療政策、医療倫理、社会医学等に関わる分野に貢献する意思を有する者
  - ② プログラム修了後、上記分野で日本医師会の研究活動に依頼に応じて協力できる者

武見国際保健プログラムは、1983年に武見太郎元日本医師会長の構想である「医療資源の開発と配分」に着目したハーバード大学が、日本医師会の協力の下に同大学公衆衛生大学院に設置した学際的なプログラムです。

毎年世界各国より10名程度の中堅の専門家・研究者がフェローとして選考され、研究活動を行っています。

今年も左記のとおりフェローの募集をすることになりましたので、応募希望者は、日本医師会ホームページに掲載の募集要項をご参照の上、期間内にご応募願います。

◆応募資格：原則として、応募時点において次に掲げる要件を全て満たしている方

(1) 40歳未満の医師または保健医療分野の研究者

◆募集定員：2名まで

◆派遣費用：往復旅費、滞在費の一部として、一人当たり500万円を支給

◆応募期間：令和6年9月1日〜11月30日まで

◆問い合わせ先：日本医師会国際課  
jmainit@po.med.or.jp



募集要項  
詳しくはこちらから

# 令和4・5年度 会内委員会答申・報告書

（全文は日本医師会ホームページ「メンバーズルーム」に掲載）

## 外国人医療対策委員会報告書

### 「地域医療における 外国人医療対策のあり方について ～人流再開に伴う諸問題を 踏まえて～」



（5）ワンストップ窓口の必要性和現状について、

（6）外国人医療対策の諸問題、

（7）地域における外国人医療提供の展開、（8）行政（国・都道府県）および日本医師会への要望、（9）おわりに――からなっている。

報告書の中で

外国人医療対策委員会は、このほど、松本吉郎会長からの諮問「地域医療における外国人医療対策のあり方について～人流再開に伴う諸問題を踏まえて～」に対する報告書を取りまとめ、稲野秀孝委員長（前栃木県医師会長）から松本会長に提出した。

報告書は、（1）はじめに、（2）外国人医療を取り巻く現状と取り組みについて（総論）、（3）医療通訳の諸問題、（4）未収金対策について、

区医師会、大和市医師会、北海道、神奈川県医師会、兵庫県の活動を紹介。その他、行政及び日本医師会への要望として、医療通訳に関しては6点（1）普及啓発（2）人材の育成（3）オンラインでのビデオ通訳の普及促進（4）利用のためのガイドラインの制定（5）誤訳に対する不安の払拭（6）費用負担についての議論促進）を、医療費未払いに関しては3点（1）対策の強化（2）補てん制度の拡充（3）協議の場の設

## 地域医療対策委員会報告書

### 「人口減少社会・新興感染症等を 踏まえた地域医療提供体制の 構築へ向けて」



「2. かかりつけ医・かかりつけ医療機関とかがかりつけ医療機関のあり方」では、かかりつけ医療機能報告制度が、かかりつけ医療機能を有する医療機関とそうでない医療機関とを分断するようなものにしてはならないと指摘している。

「3. 働き方改革の地域医療への影響」

地域医療対策委員会は、このほど、今期の諮問「人口減少社会・新興感染症等を踏まえた地域医療提供体制の構築へ向けて」に対する報告書を取りまとめ、中目千之委員長（前山形県医師会長）から松本吉郎会長に提出した。

置）を、問題解決機関に關しては2点（1）ワンストップ窓口の集約化（患者向け、医療機関向け）（2）調査研究）を、災害時／パンデミック対応に關しては要配慮者としての外国人対応を、また、医師会に關しては医師会内での広報をそれぞれ求めている。

「4. 人口減少下における医師確保・医師偏在対策」では、地域医療の担い手が少ないという問題には、強制的な手法ではなく、意識変容を促すことが必要であるとしている。他、地域医療を維持するための好事例として福島県医師会の医業承継を紹介している。

また、「地域枠」については地域枠からの離脱予防に、丁寧な説明と継続的なキャリア形成支援、更に大学では、かかりつけ医の役割等の教育が必要であるとしている。

「5. 在宅医療並びに外来機能報告・紹介受診重点医療機関について」では、「在宅医療」に關して、地方と都市部ではニーズが違うことも踏まえた上で、保険診療の要件と、医療計画の關係に

ついて明確にすることを要望。また、国に対してかかりつけ医による在宅医療を推進するよう求められている。

「紹介受診重点医療機関」については、「地方には、紹介受診重点医療機関になじまない200床以上の病院がある」「今後、紹介受診重点医療機関の要件が一般病床200床未満に引き下げられないよう注視する」「かかりつけ医療機能を持つ医療機関とそれ以外を選別する制度にならないよう

「6. 第8次医療計画」

## 健康食品安全対策委員会

### 「I. 健康食品安全情報システム 事業の更なる活用に向けた 具体的方策について」

### 「II. かかりつけ医療機能を礎とした 正しい医療・健康情報の 啓発方法について」



健康食品安全対策委員会は、このほど、松本吉郎

を踏まえた今後の地域医療構想」では、第8次医療計画で二次医療圏を見直すかについては、多くの地域で見直しは行われないが、疾病や診療科により医療圏の範囲は変わるため、行政に柔軟に対応するよう要請していくとの回答があったことを紹介している。

また、地域医療構想の実現のためには、都道府県医師会のリーダーシップと、行政及びアカデミアの連携とが必要であり、この連携を厚生労働省がバックアップする体制が望ましいとしている。

また、「おわりに（総括）」の中では、（1）補完的な役割として、健康食品を摂取する場合には用法・用量をしっかりと守って摂取する、（2）摂取する場合には、かかりつけ医やかかりつけの薬局に相談する、（3）医師や薬剤師側も問診票を活用したり、積極的に健康食品の摂取を尋ねる習慣を身に付ける――ことが大事になると指摘。

会長からの二つの諮問「I. 健康食品安全情報システム事業の更なる活用に向けた具体的方策について」

「II. かかりつけ医療機能を礎とした正しい医療・健康情報の啓発方法について」に対する報告書を取りまとめ、尾崎治夫委員長（東京都医師会長）から松本会長に提出した。

「II. 正しい医療・健康情報の啓発方法について」に對する報告書を取りまとめ、尾崎治夫委員長（東京都医師会長）から松本会長に提出した。

健康食品安全対策委員会は、このほど、松本吉郎

### 救急災害医療対策委員会報告書 「医師会による 救急災害医療の実践について」



「救急災害医療対策委員会報告書」は、平成16年から実施されてきた日本医師会ACLS研修について、アメリカ心臓協会のACLSコースとの名称混同が指摘されてきたことや、最後の要綱等の改正から10年が経過したことを受け、同研修について要綱の改正等を実施。2024年4月から「日本医師会二次救命処置(ALS)研修」という名称に改め、チーム蘇生の重視、開業医向けの促進、PBLの導入による実習時間の短縮や充実、「鎮静剤への副反応」オプション研修の追加などを行ったことが説明されている。

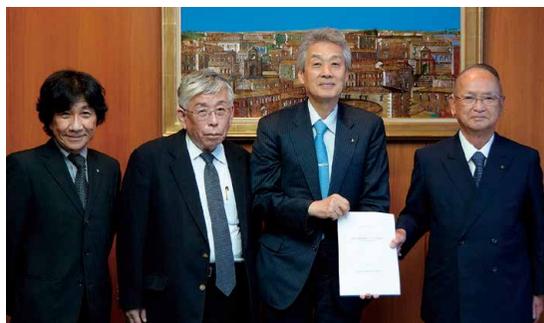
救急災害医療対策委員会は、このほど、松本吉郎会長からの諮問「医師会による救急災害医療の実践について」に対して、

は、平成16年から実施されてきた日本医師会ACLS研修について、アメリカ心臓協会のACLSコースとの名称混同が指摘されてきたことや、最後の要綱等の改正から10年が経過したことを受け、同研修について要綱の改正等を実施。2024年4月から「日本医師会二次救命処置(ALS)研修」という名称に改め、チーム蘇生の重視、開業医向けの促進、PBLの導入による実習時間の短縮や充実、「鎮静剤への副反応」オプション研修の追加などを行ったことが説明されている。

「地域包括ケアシステムにおける救急医療について」ワーキンググループの報告書では、「救急医療基本法」「救急救命士の活用」や「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生」について議論を行ったことや、各地の事例なども紹介している。

「JMATのあり方」ワーキンググループの報告書では、前期の同ワーキンググループの報告書で、

### 医療安全対策委員会答申 「医療事故調査制度における 院内調査のさらなる充実に向けて」



院内調査の具体的な手順「4. 医療事故調査における各関係者の役割」「5. 医療施設の管理者・幹部、医療安全管理者として押さえておくべき基本的事項」で構成されている。

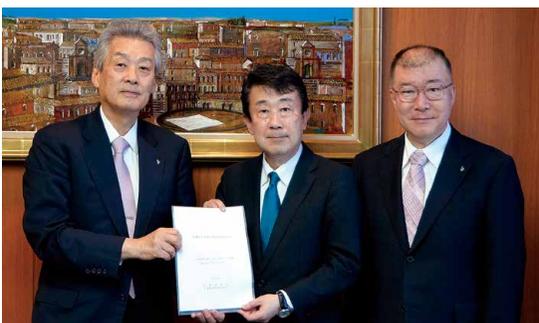
医療安全対策委員会は、このほど、松本吉郎会長からの諮問「医療事故調査制度における院内調査のさらなる充実に向けて」に対する答申を取り、

「はじめに」の中で、診療現場の力を十分に活用する。当該医療施設が丸となって調査を進めていく必要があるとし、この点を院内調査における最も強調すべき基本理念とすべきとした上で、「2. 本書がめざす院内調査のあり方について」では、本書に基づき院内調査が実施された場合の効果として、「医療事故につながる危険な早期発見と改善」「国民からの医療に対する信頼感の向上」などを挙げている。

「はじめに」の中で、診療現場の力を十分に活用する。当該医療施設が丸となって調査を進めていく必要があるとし、この点を院内調査における最も強調すべき基本理念とすべきとした上で、「2. 本書がめざす院内調査のあり方について」では、本書に基づき院内調査が実施された場合の効果として、「医療事故につながる危険な早期発見と改善」「国民からの医療に対する信頼感の向上」などを挙げている。

「3. 医療施設における院内調査の具体的な手順」では、実際の院内調査における一般的な対応手順と注意点について時系列に説明。「4. 医療事故調査における各関係者の役割」では、特に主体的な役割を果たすことが求められる支援団

### 生涯教育推進委員会答申 「医療連携の強化に資する 教育モデルの開発 ～地域医師会での活用を 見据えて～」



「はじめに」の第3章「地域医師会での活用を見据えたこれからの生涯教育プラン」将来に向けて確実に継続的な質向上を目指した医療連携を実現するために、「おわりに」で構成されている。

第1章では、医療連携のために生涯教育を進める必要があるとするとともに、そのための体制構築の重要性などについて言及している。

### 釜范副会長出演 子宮頸がん予防ワクチン、 コロナ対策に関する動画を公開中!!



子宮頸がん座談会



今知りたい! コロナ対策

日本医師会はこのほど、釜范敏副会長出演による動画2本、(1)子宮頸がんを予防するワクチンの疑問に答える座談会、(2)今知りたい! コロナ対策——を新たに制作しました。

(1)は東京都在住の高校生の親子3組と座談会を開催し、ワクチンの疑問に答えながら、キャッチアップ接種(来年3月で終了予定)を利用したワクチン接種の検討を呼び掛けるものとなっており、(2)はコロナの感染患者が増加傾向にあることを踏まえ、現在、流行しているウイルスの特徴や注意すべき点などを解説したものとなっています。

動画は公式YouTubeチャンネルに掲載していますので、ぜひ、ご覧下さい。

なお、「患者さんへの説明に利用したい」など、ご希望の方には、動画のデータ(MP4)を差し上げますので、日本医師会広報課まで、希望する動画のタイトル(例「子宮頸がん座談会」「今知りたい! コロナ対策」)を明記の上、メール(kouhou@po.med.or.jp)でお申し込み願います。

冊子は「1. はじめに」「2. 本書がめざす院内調査のあり方について」「3. 医療施設における院内調査の具体的な手順」などから構成されている。

「はじめに」の中で、診療現場の力を十分に活用する。当該医療施設が丸となって調査を進めていく必要があるとし、この点を院内調査における最も強調すべき基本理念とすべきとした上で、「2. 本書がめざす院内調査のあり方について」では、本書に基づき院内調査が実施された場合の効果として、「医療事故につながる危険な早期発見と改善」「国民からの医療に対する信頼感の向上」などを挙げている。

「3. 医療施設における院内調査の具体的な手順」では、実際の院内調査における一般的な対応手順と注意点について時系列に説明。「4. 医療事故調査における各関係者の役割」では、特に主体的な役割を果たすことが求められる支援団

### お知らせ

本年7月より、日医医賠償特約保険ポータルサイトを大幅にリニューアルし、WEB上で日医医賠償特約保険の加入・脱退や変更依頼書を作成できるようになりました。ぜひ、ご活用下さい。



# 勤務医のページ

## 勤務医委員会答申(その1)

### 「医師会組織強化と勤務医」

勤務医委員会(委員長:渡辺憲前鳥取県医師会長)は、諮問「医師会組織強化と勤務医」に対する答申を取りまとめ、4月12日、松本吉郎会長へ提出した。  
その概要を2回に分けて紹介する。

#### 若手医師の医師会入会促進に向けて

#### 1. 勤務医が医師会活動に参画するための支援

医師会組織強化という課題解決に向けた対策の一つに、勤務医の日本医師会への入会率向上がある。一般的に勤務医は、個々や組織の業績アップや医療技術獲得には関心が高いものの、医師会活動は医療分野の業績に直接つながることが想像しにくい。そのため、関心が持たれにくいと考えられる。

こうした現状の中で、勤務医の入会促進、特に若手勤務医に医師会活動に参画してもらう体制を構築することが、本委員

師中心の委員会を組織する、あるいは、さまざまな委員会の委員として若手医師を積極的に登用するなど、若手医師の医師会活動への参画を得るための体制を意識的に構築することが必要である。若手医師に何らかの責任ある役割を与えること、そして、若手医師が全国規模の集会等を自らで企画するようなことができれば、全国組織に参画している意義と責任を、より強く自覚してもらう必要がある。

#### (2) 医師会活動に参画する勤務医のリクルート

医師会が組織として若手を登用するシステムを構築したとしても、実際に参画する医師をいかに発掘するかという課題も存在している。

広く公募したとしても、その情報自体が若手医師の間に広まりにくいことも予測されるため、会員の人脉や各地域の情報を利用して特定の人物の参画を促し、推薦する努力が必要である。

#### (3) 管理職・中堅医師に対するアプローチ

積極的な参画が望まれる若手医師にとって、医師会はずばりにアプローチしつらいことが推察される。そこで重要なのが、日頃から若手医師と密に接している中堅医師に対する働き掛けである。

ただし、中堅医師自身が医師会活動の意義や重

要性を正しく理解しているとは言い難いことも現実であり、まずはその点を十分に考慮しながら、若手・中堅ともに、さまざまな立場で医師会活動に参画し、意見を述べるような場を設けるなどの工夫が必要である。

また、医師会活動に参画している管理職医師に積極的に勧誘活動に加わってもらうこと、他、未入会の中堅医師に対して医師会活動への理解を促し、協力を得ることも重要である。

#### 2. 医師会未入会の若手・中堅勤務医との関係づくり、大学医師会との連携

医師会の確固たるプレゼンスを未入会医師及び医学生に示し、医師会に所属し、活動に参画することの意義と、個人や医療機関等へのベネフィットを感じてもらえることが必要である。そのためには医師会を知る、興味をもつ、そして参加する、これらを促す努力が必要である。

まずは、知ってもらうこと。臨床研修病院への研修医訪問の対象を、医学生や中堅医師にまで広げることや、医師会活動や日本医師会の動向を説明すること、また、医学「Junior Doctors Network」との連携、「U

討すべきである。次に、興味をもってもらうこと。医学部での講義において医師会の社会的活動や医師支援活動の理解を促し、生涯にわたる頼れる組織として医師会を記憶に刻むことが極めて重要である。

また、大学の講義で扱

師(41〜50歳)の3グループに分けて委員に就任してもらう③「ESY Program」(国際医学生生連盟日本)と連携して、医学生段階から医師会活動に触れることができるような体制をつくる④留学奨学金支援制度を新設(2年間以上の会員なら

#### 3. リーダー的若手勤務医の積極的な理事登用や委員会委員として医師会参画への参画を促す

将来を担うべき若手医師の積極的な理事登用としての参画を奨励することは、医師会の会務向上や組織の発展に資するばかりでなく、組織に新しい視点と革新的なアプローチをもたらす他、迅速かつ柔軟な組織運営を可能とする。他にも、若手層の育成やリーダーシップの醸成にもつながり、他の若手医師や研修医にとつての模範となる。

また、委員会委員としての参画は、多様な視点からの議論と知恵の結集を促進し、専門性や経験の異なるメンバーとの協力によって組織全体でパフォーマンスのとれた意思決定が可能となる。

リーダー的若手医師の登用には一部の反発も予想されるが、その解決のため若手医師への適切な

更には、日本医師会の構造的な変革として、①各委員会の女性比率と40代以下の若手医師の比率をそれぞれ20%以上にすると②各委員会の若手医師を「初期研修医から専攻医(Junior Doctors Network)との連携」「U

#### 4. 若手勤務医の医師会活動を病院が支援する体制づくり

若手勤務医の医師会活動を推進するためには、勤務医に対する働き掛けとともに、病院管理者や上司への働き掛けが必要である。勤務医が医師会業務に労力と時間を割くことは容易ではなく、管理者や上司・同僚など所属機関の理解がなければ、役員、委員等として医師会活動に参画することは極めて困難である。

しかし、医師会活動に参画することで、医療は政策や制度の下に成り立ち、医療政策へ適切な提言ができるのは医師会だけであることを実感できる他、医師会内のさまざま

また、メンバー同士の診療連携が推進され、行政とのつながりもできることは、個人にとどまらず医療機関や地域にとつてもメリットとなる。

まずは管理者自身が医師会活動に参画し、活動の意義や勤務医個人と医療機関にとつてのメリットを理解し、勤務医の医師会活動を評価する環境を整えることが必要である。その上で、自施設の勤務医に対して、負担が軽く、やりがいを見出せる分野の委員会やワーキンググループのメンバー

した選出プロセスを確立し、理事や委員に選ばれた理由を理解が得られるまでしっかりと説明した上で、組織内での若手医師の能力や貢献度を公正かつ客観的に評価する仕組みを整備することが極めて重要である。

若手医師のリーダーシップを引き出すためには、理事登用と委員会参画の機会を提供し、医師会全体がより活気付いていく組織文化を築くことが極めて重要である。これにより、若手医師たちが成長し、将来の医師会の指導層を担うことが期待される。

## 不確実な将来に、今こそ、

税優遇を活かして老後に備える一

# 国民年金基金

国民年金(老齢基礎年金)に上乘せする「公的な年金制度」です

ポイント 税制上の優遇措置

- 掛金は全額社会保険料控除の対象
- 受け取る年金にも公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

#### 【ご加入条件】

- 20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入している方

※主に、個人立診療所の医師・従業員・ご家族などとなります。  
※日本医師会年金(医師年金)に加入している方もご加入できます。



お問い合わせは下記どうぞ

全国国民年金基金

日本医師・従業員支部

☎0120-700650

HP上で24時間、資料のご請求・シミュレーション・加入申出のお手続きができます!



日本医師・従業員支部は、「日本医師会」を設立母体とする日本医師・従業員国民年金基金が移行した医師・医療従事者のための職能型支部です。